

明日からの春休みを前に、みなさんは過ごし方の計画を立てていますか？今日3月18日に終業式が行われるのは、山口県、広島県、岡山県や愛媛県の公立高校です。山陰地方の島根県や鳥取県では1週間後の3月24日です。九州地方も多くが3月24日です。鹿児島県では3月25日に行われ、それまで授業をやっています。明日からの春休みは20日間あります。勉強時間の確保と部活動の時間をうまく計画立てていきましょう。

春休みは「部活三昧」になりがちで、勉強時間が足らなかったという人がでてきますので要注意です。「今年こそレギュラーになろう」「今年こそインターハイに行くぞ」など、皆さんの決意が日頃の練習ぶりから伺えます。一方で、「勉強も頑張ろう」「宿題は早めにやっつけよう」の決意をもって、**計画を立てて取り組むと、時間が有効に使えてきます**。全国の高校生の持ち時間は同じです。是非、有意義な春休みにしてください。



旧正門左手の満開の河津桜
2022.3.16

○九州大学（理）9年ぶり現役合格！

現役では9年ぶりに九州大学に合格しました。野球部に所属し、3年間部活動に頑張った男子生徒です。部活動に取り組み、文武両道を実践する皆さんには明るい話題です。身近な先輩が合格していますので、あとに続けられるよう頑張ってください。この他、今年度入試の国公立大学では、山口大学3人、九州工業大学2人、長崎大学、鹿屋体育大学、下関市立大学9人、山口東京理科大学薬学部3人、北九州市立大学4人、長崎県立大学、周南公立大学3人に現役合格をしています（3/11判明分）。詳しくは新年度「進路の手引き」で紹介しています。

○「山口大学志望者集会」について 11時20分から、社会科教室

本日、11時20分から社会科教室で志望者集会を行います。2月の進路希望調査では、現1年生では29人、2年生では33人の志望者がいます。第2、3希望まで考えればもっと多い人が考えていることと思います。今回の集会では、共通テストと2次試験の関係、合格するには何点必要なのか、共通テスト逃げ切り型なのか、2次比重が重いのかなどのお話をします。また、2次対策のために、**今年度実施の入試問題を特別に配付します**。山口大学の2023赤本は秋には出版されますが、その前に手に入れることができます。「山口大学をちょっと考えている」という人は参加してください。

集会の「資料」から抜粋

- 1 山口大学の入試科目、配点を調べる。別紙参照（「パーフェクトブック」や河合塾「共通テストリサーチ」、「蛍雪時代9月号」）
 - (1) 合格最低点を調べ、共通テストでは何点以上が必要か。2次では、何点以上が必要かなど。（最低点は、HPや「蛍雪時代」にあります）
 - (2) 医学部医学科以外は、共通テストで点を取った者が逃げ切れる可能性が高い。合否度数分布表で見ておこう。2次試験は5割とれる力をつけておこう！（入試問題参照）
- 2 日頃の進研記述模試では、どのくらいの成績が必要か。「合格ライン2021」から合格者平均点をみると、3教科（国数英）1年生（100点×3科目）は、140点を取りたい。2年生（200点×3科目）は280点を目標にする。
- 3 定期考査では、。
 - (1) 「共通テスト」は、教科書から出題され、定期考査の延長上に入試はある。よって、定期考査にはしっかり取り組む。
 - (2) 定期考査でできなかった問題は、早めに解決しておく。すぐ、教員に質問する。「いつかやろう」は、3年生になると時間がありません。すぐに解決する習慣をつけておくこと。
 - (3) 定期考査では、7割以上を目指す。

○国公立大学後期合格発表日

3月12日に国公立大学の後期日程が行われました。本校からの受験者はわずかでしたが、最後までやりきりました。3月20日を中心に、中・後期合格発表が行われます。よい結果を期待したいです。今年の入試も地元志向が強く、本校では福岡を中心とする私立大学に落ち着いた人が多かったように思います。全国的に医学、薬学、看護など職業に直結した学部やIT関連の情報学部に人気が高く、倍率では「文低理高」の傾向でした。

○今年の山口大学2次試験について 先生方からのコメント

国語、数学、英語、理科の先生方に解いていただきました。教科の先生方から届いているコメントを紹介し、今後の参考にしてください。

国語：(古文)平安・鎌倉の物語や説話からの出題が多いようです。文法問題は基本的な内容で、1年生で習ったことをしっかり確認しておけば良いでしょう。今回の文章は1800字程度で少し長いです。登場人物の心情を問う70字前後の記述問題が3題出題されました。基本単語帳に出ている単語はしっかりカバーし、短時間で内容をしっかり読み取る力が求められます。その上で記述力が必要ですが、これについては現代文の日々の授業に集中して取り組む事が有効です。(漢文)文章・説話・史伝・詩と様々なジャンルから出されるようです。今年は五言律詩でした。問題は基本的な内容です。授業に集中して取り組み、日々の復習をしっかりとすることで、8割は獲得できます。50字の記述問題がありましたが、これも古文と同じで、現代文の授業を通じて力を蓄えていきましょう。

基本的な漢詩の知識があれば解けます。問七の記述も内容が理解できれば書けます。

問題のレベルとしては標準的だと思います。現代文はそれほど差のつかない問題。記述問題が多いので、普段から週末課題(アチーブ3)などに真剣に取り組んでいけば、本番でも慌てることはないでしょう。部分点は拾えるはず。 (古文)今年度は敬語が出題され、ここで少し差がついたかもしれません。例年、国公立大学では動詞の活用など高1で学習した超基本的な問題が出題されることもよくあります。「いはけなし」「ゆかし」「世を背く」は頻出。ここで落とすわけにはいかない!! (漢文)苦手意識をなくして、得点源にできれば、かなり有利に戦えます。共通テストも同様。

英語：大問が3つあります。Ⅰは論述、Ⅱは小説、Ⅲは掲示物を見ての英作文です。くせのない出題で、良問が多いです。Ⅲの英作文で点差がつくと予想されるので、構文集などで英作文の暗記をし、英文が書けるようにするとよいでしょう。

生物：全体的に教科書レベルの問題。皆さんがもっているニューグローバルと照らし合わせると、基本問題と論述問題をおさえておくことが大事です。大問は5問。1. 恒常性の問題(体温の調整): 生物基礎 2. 細胞の構造、遺伝情報の発現の複合問題: 生物 3. 集団遺伝の問題: 生物 4. 遷移: 生物基礎 5. 植物ホルモン: 生物

記述問題は、50字以内と字数の少ないものから160字程度と字数の多いものまであるので、キーワードをおさえて文章を組み立てていくという練習が必要。そのためには、基礎を固めておくことが必要なので、ニューグローバルの基本部分を取りあえず1周して、自分の習熟度を確認してください。

○3月末・4月・5月中旬の予定 (4月以降は変更の可能性あり)

- 3月23日(水) 24日(木) 1・2年追認考査
- 3月25日(金) 仮入学(午後) 12:30~受付
- 4月8日(金) 始業式、入学式
- 4月11日(月) 対面式
- 4月12日(火) 課題テスト、部活動紹介
- 4月14日(木) 課外開始
- 4月18日(月) 面談週間(～22日)
- 5月2日(月) 新体力テスト 予備日5月6日(金)
- 5月6日(金) 考査発表
- 5月12日(木) 振替休日
- 5月13日(金) 中間考査(～17(火))
- 5月14日(土) 中間考査2日目、PTA総会 13:00～
- 5月17日(火) 中間考査最終日、全校集会、防犯訓練



開花間近の桜

終わりに

3月16日10時、高校の合格発表が行われました。今年はQRコードを使ってWeb上の合格発表も行われました。コロナ禍では、密集を避けての合否確認には良いやり方だなと思いましたが、感動や喜びは感じにくいかと想像しました。合格者掲示場所の本校昇降口には例年通り中学生の姿があり、なぜかほっとしました。大学入試の合格発表では、今年から従来通りの掲示板発表に戻し、Web上の発表と並行して行った大学があります。ファンファーレや部員による胴上げ、勧誘風景などを見てきた者からすると、苦労した受験勉強から解放されるご褒美のような瞬間を受験生には味わわせてあげたいと感じています。今年度は本号が最終号です。1年間読んでいただき、ありがとうございました。(文責 木嶋)



資料館前のチューリップ